

会議録

会議の名称	第1回加西市元気なまちづくり市民会議
開催日時	平成28年5月28日（土）午後1時30分～3時30分
開催場所	加西市役所 1階 多目的ホール
議長の名（会長 牧瀬 稔） 出席及び欠席委員の名 ＜出席委員＞ ・河尻 悟 ・久米澤 稔 ・杉本 建人 ・高見 めぐみ ・立花 莉絵子 ・仲井 正人 ・半井 孝明 ・橋本 たへ子 ・牧瀬 稔 ・丸井 正樹 ・吉田 廣 ＜欠席委員＞ ・前田 麻耶	
傍聴者の人数 一般：なし 報道機関：なし	
出席した事務局職員の氏名及びその職名 ・理事（地域創生担当） 須貝 正俊 ・ふるさと創造部長 西岡 義信 ・ふるさと創造部人口増政策課長 千石 剛 ・ふるさと創造部人口増政策課課長補佐 小菊 啓靖 ・ふるさと創造部人口増政策課主任 小林 和敏 ・ふるさと創造部人口増政策課まちづくり専門員 小山 映	
1 議事 (1) 加西市元気なまちづくり市民会議の進め方について (2) 評価シート等の検討について (3) 平成28年度の主な事業等について (4) 地方創生交付金（先行型）の事業報告について 2 会議資料 市民会議の概要ほか 3 会議の経過 ⇒別紙「第1回加西市元気なまちづくり市民会議の経過」のとおり	

(別紙) 第1回加西市元気なまちづくり市民会議の経過

発言者	会 議 の 経 過 / 発 言 内 容
	開会
市長	1 市長あいさつ 元気なまちづくり市民会議にお忙しいなか出席していただき、感謝申し上げます。 市民活動団体のような大胆な名前をつけたが、大いに発言いただいて総合計画の推進にあたりご協力をお願いしたい。 88項目のマニフェストのもと、27年度は計画をつくる年度にあたり、地域創生戦略を定め、行財政改革プランや総合計画の見直しなど議会でも活発な議論をいただいたが、しっかり進めていきたい。 最終的には、市民の計画として目標を共有していくことが大切なので、今年度初めに、10か所のタウンミーティングで取り上げて周知を図ってきたところである。計画の検証についても共有しながら進めていきたい。地域の課題を解決する組織として、ふるさと創造会議が9地区で設置済みとなっているが、残る2地域も今年中に立ち上げる予定としている。 人口を増やすという最終目標はなかなか困難だが、国を挙げての取り組みであり、しっかり目標に向かって頑張っていきたい。 総合計画の外部委員による評価検証は初めての試みとなるが、現状把握、効果の分析など精度を高めていきたいので、委員の皆様のご協力をお願いしたい。
	2 委員紹介
	3 会長・副会長の選出
	会長には牧瀬委員が、副会長には杉本委員が選出された。
会長	4 議事 ・各委員のご協力をいただき進めて行きたいので、よろしく願います。大胆な発言、忌憚のない意見を皆様をお願いしたい。
	(1) 加西市元気なまちづくり市民会議の進め方について
	事務局から説明
委員	・ 会議の傍聴に関する市の規定を教えてほしい。
事務局	・ 関係資料を委員の皆様に来週お送りする。
会長	・ 30施策を議論するとなると、2回の会議で一つの施策平均8分間ということになるが、10月までに評価検証しないといけない理由は何か。
事務局	・ 今回、27年度の評価検証をこれまでの内部評価に加え外部評価をお願いすることになるが、今年度以降の計画への反映を考えており、11月頃から始まる予算作業に間に合わせるためには、10月までに評価検証を終える必要がある。
委員	・ 部会を設け、分けて議論するのはどうか。必要な場合は設置を想定している。
委員	・ 自己評価された中身を見て納得できるものにしないといけないので、自己評価をしっかりとってほしい。抽象的な表現でなく、数値の根拠が必要である。人口はマイナスになっており、単に活動したからというのは評価にならないので、人口動向や転出率を抑える等の数値の評価がいる。
事務局	・ 自己評価についての妥当性の評価をしてほしい。数値目標をできるだけわかり易いものにしたいと考えている。
委員	・ 市は営利を目的としているわけではないので、人が増える、財政の健全化を図るあるいは健康寿命を延ばすといった指標がいる。
事務局	・ 総合計画、地域創生戦略に掲げている施策に対し既に設定されている指標をもとに議論いただくのが基本である。人口を増やす以外の、集約する指標が必要だと感じている。
委員	・ 人口増加のための目標も含めて、具体的数値が必要である。安全に楽しく暮らせ

委員 事務局	るのが最終目標といえる。 ・ 個々の目標の集約がいるのではないか。 ・ 今後進めて行く方向を明らかにするため、総合計画では様々な数値目標を定めている。別途、その指標の適否について会議で議論されることもありだと思ふ。 (2) 評価シート等の検討について 事務局から説明
委員 事務局 委員 事務局 委員 副会長 事務局 委員 事務局 会長 事務局 会長 委員 事務局 委員 委員 委員 事務局 会長 委員 事務局 会長 事務局 副会長 事務局 会長 委員 事務局	・ 最終的にできあがるものは何か。 ・ 行財政改革プランと地域創生戦略への反映ということになる。 ・ 評価シートの確認と一覧表への皆さんのコメントということでもいいか。 ・ そのとおり。 ・ 26年度から追加している項目も含めてととらえていいか。 ・ 196の取組を30の施策に集約して市民会議で評価とのことだが、自己評価と異なる場合どちらを選ぶのか。 ・ 市民会議の2次評価を真摯に受け止めることになる。 ・ スケジュールの流れは。 ・ 7月中旬までに各部の自己評価を行い、8月の2回目の会議に向けて整理していく予定としている。3回目の10月15日は、修正を確認いただくことを考えている。 ・ 評価一覧表の1次評価の記載にあたっては、①取組状況、課題等の記述は5行以内でお願いしたい。 ・ また客観的な実績数値として②27年度の数値目標の達成率(記載サンプルでは18.0/19.0=約94%)をあくまでも現時点の評価として表示追加、32年度に対する27年度の達成率(同 18.0/30.0=60%)の表示追加をお願いしたい。 ・ あと、③あくまでも27年度の評価であることを明記してもらいたい。 ・ 自己評価欄に目標数値の達成度の項目を設けているが、ダイレクトな数値がいるということか。 ・ ダイレクトな数値をお願いしたい。 ・ 5段階の評価も考えられる。 ・ 段階評価を考えている。 ・ 0%、25%、50%、75%、100%以上といった5段階評価でいいのではないか。 ・ 数値そのもの又は1～5の5段階表示が考えられる。 ・ 数値化するのには担当課の負担になるのではないか。 ・ 段階評価のための元数値は担当課で把握しており、コメントの表示というものではなく機械的に算出できるので、特に問題はない。 ・ 担当課のことは特に気にしなくて良いと思う。説明記述は5行以内と実績数値の2つの表示をお願いする。8月27日の2時間で30施策の点検作業は工夫しないといけない。 ・ 数字のチェックだけでなく、理由を考えていくと2回必要ではないか。 ・ 市民会議での議論とパブコメは並行して進めることは可能である。 ・ 回数を増やすことや時間を増やすことが考えられるが、予算的には大丈夫か。 ・ 対応は可能である。 ・ 自己評価した資料は、事前に送ってもらえるのか。 ・ 事前に送付する予定である。 ・ 会議を3つぐらいの部会に分けて運営していくのはどうか。 ・ 196の取組がある30施策は、わかるところとそうでないところがある。 ・ 総合計画の30施策は、大きく5分野に分かれているが、施策01～07の人づくり施策に08～11の産業の一部を加える等の組み合わせが考えられ、施策12～21で1グループ、施策22～30で1グループとすれば、3つのグループが構成される。 ・ バックデータも見ていただき判断していくことになる。 ・ 効率的にやるには、分けて取り組むのがよい。 ・ 部会で分担して見てから最後に全員で集まって議論したい。 ・ 部会に分かれた方がよい。最後に話し合うのなら時間の節約になる。

委員 会長	・ 部会に分かれるのに賛成する。 ・ 3つの部会に委員の希望により分かれていただくことにする。(委員の希望聴取) ・ 各委員のご希望を踏まえ、次のとおり部会を編成することにするので、次回開催時は最初に部会長を選定いただきたい。
委員 事務局	①人づくり・産業部会 杉本副会長、仲井委員、橋本委員、丸井委員 ②まちづくり・くらし部会 河尻委員、高見委員、立花委員、吉田委員 ③環境・地域経営部会 牧瀬会長、久米澤委員、半井委員、前田委員 ・ 数値目標の設定根拠はあるのか。 ・ 総合計画の大枠に従って、地域創生戦略、行財政改革プランの中でできる限り個々の評価として相応しいものとしている。もう少し補完していくことを考えたい。
会長 委員 事務局	・ 指標の設定理由が必要かと思う。 ・ 今回の評価対象は、27年度ということか。 ・ 27年度についてお願いしたい。
委員 事務局	・ 26年度以前の数値指標の経過についても知りたい。 ・ 前期計画の期間の指標については、計画見直しの中で当初の数字とともに後期計画にまとめて表示しているので、これで対応いただくとよいと思う。
委員	・ 例えば、図書館来館者数の実績の数字は目標に対し低い数字になっているので、見直すなり理由がわかるようにする必要がある。
委員 委員 委員 事務局	・ そういうところを我々はチェックしないといけない。 ・ きちんと自己評価しておいてほしい。 ・ 達成度は、目標数値に対するものか。 ・ 従来からある項目であるが、表示方法を今回改めた。自己評価については、各部に丁寧に説明しておくようにしたい。
委員 事務局	・ 26年度についてはスケジュールの達成度についての評価である。 ・ 従前は事業が予定どおり進んでいるかスケジュールについての達成度の評価であったが、今回からは目標数値についての達成度がわかるようにしている。
	(3) 平成28年度の主な事業等について 事務局から説明 〔質問・意見なし〕
	(4) 地方創生交付金（先行型）の事業報告について 事務局から説明 〔質問・意見なし〕
副会長	閉会 副会長あいさつ 本日の会議では、活発に貴重なご意見をいただきお礼申し上げます。今回いただいたご意見を基に、事務局の方で評価シートの見直し、内部評価等を進めていただき、第2回会議では3つの部会に分かれて議論を行っていききたい。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。